第17回 子ども学会議 (学術集会) のお知らせ



子どもらしさって、なあに? ぼくらしさ・わたしらしさを知っている?

一身体に不自由のある子どもたちの支援を通して発達とは何かを考える―

第17回子ども学会議は、滋賀県立大学にて開催されます。会議を企画・運営する「びわこ学園医療福祉センター草津」は1963年に日本で2番目に設立された重症心身障害児(者)施設で、今年で58年目を迎えます。びわこ学園の創設に尽力された糸賀一雄は「この子らを世の光に」という言葉を残しており、これは「この子らに世の光を」という慈悲の言葉ではなく、この子らこそが光り輝く光そのものであることを意味しています。

本学術会議のテーマは、「子どもらしさって、なあに? ぼくらしさ・わたしらしさを知っている?」―身体に不自由 のある子どもたちの支援を通して発達とは何かを考える―です。

それぞれ異なった子どもらしさを持っている子どもたちが、それぞれに光り輝くために、私たち大人は何ができるでしょうか? 会議では身体に不自由のある子どもたちの生活世界を視座に置きながら、子どもたちの発達をどのように捉え、支援していくのかを考えてみたいと思います。

[日時] **2021年10月23日**(土)·**24日**(日) [会場] 滋賀県立大学

■ 参加費(事前登録):学会員4,000円、一般5,000円、学生3,000円(ポスター発表)、懇親会費5,000円

(当日) : 学会員5,000円、一般6,000円、学生1,000円(高校生以下無料)、懇親会費6,000円

■ 大会長:高塩純一(びわこ学園医療福祉センター草津)

■ 大会準備委員長:安田寿彦(滋賀県立大学工学部教授)

■ 後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、一般社団法人 滋賀県医師会、社会福祉法人 びわこ学園、 公益財団法人 滋賀県理学療法士会、一般社団法人 滋賀県作業療法士会、公益財団法人 ダイトロン福祉財団

■ 協賛: 滋賀県立大学工学部 情報応用サロン

-- **第 17 回 子ども学会議** プログラム (予定)

10:00~ 開会式

10:10~ 大会長講演「障害のある子どもたちへのPlayful Approach」

高塩純一(大会委員長・びわこ学園医療福祉センター草津)

11:00~ 教育講演「福祉の思想」 渡部昭男(元神戸大学発達科学部教授) 司念: 口分田政夫(びわこ学園医療福祉センター草津施設長)

第1日 \ 12:00~ 昼休み/理事会/会員総会

13:00~ シンポジウム「子どもと環境をどのようにつなぐのか」 鯨岡 峻(京都大学名誉教授)、細田直哉(聖隷クリストファー大学准教授)、

天田美恵(滋賀県立小児保健医療センター作業療法士)、桐山伸也(静岡大学情報学部准教授)

司会:岸本 眞(宝塚医療大学和歌山保健医療学部教授)

HP をご覧ください

16:00~ ポスターセッション

18:15~ イブニング・セッション/ポスター発表優秀賞表彰式

9:00~ 特別講演「涙も笑いも、力になる」 副島賢和(昭和大学大学院保健医療学研究科准教授)

司会:高塩純一(びわこ学園医療福祉センター草津)

10:40~ パネルディスカッション「早期電動移動機器使用が子どもたちの発達に及ぼす影響 西島和秀(聖ヨゼフ園作業療法士)、篠原 勇(与謝の海支援学校教諭)、安田寿彦(滋賀県立大学工学部教授)、 濱田知加(当事者の親として・保健師) コーディネーター: 船橋篤彦(広島大学大学院講師)

□ \ 10:40~ 自主シンポジウム

12:00~ 昼休み/12:15~14:30 遊☆viva in 彦根(ホワイエ) 13:00~ 市民公開講座 クロストーク

「殺す親 殺させられる親 一重い障害のある人の親とともに考える施設福祉と地域移行」

児玉真美(日本ケアラー連盟代表理事)、木下 真(福祉ジャーナリスト・日本子ども学会事務局長)

14:40~ 市民公開講座「子どもたちからのSOS」 悠々ホルン
市民公開講座「子どもたちからのSOS」 悠々ホルン
市会: 松嶋秀明(滋賀県立大学教授)

16:00~ 「これからの障害児支援を考える」 榊原洋一(日本子ども学会理事長・お茶の水女子大学名誉教授)

16:30~ 閉会式

(詳細は、日本子ども学会のIPでご案内します)

第2日 10月24日 (日)

10月23日

(土)

投稿論文 募集!

チャイルド・サイエンス 投稿論文部門 原稿募集について

投稿種別

投稿者は投稿時に論文の種別(下記参照)を選択し明示してください。なお、査読の過程で、論 文内容に即して種別の変更をお勧めすることがあります。

● 研究論文

いずれかの研究領域の理論と方法を背景としつつ、子どもに関する学際的な問題について研究した成果をまとめたもの。

● 研究ノート

子どもをめぐる様々な事実や状況を検討して研究の課題を提示したり、子ども学として確立していくべき研究の方向性を示したりする萌芽的な研究や展望、提言など。

査読体制

- 論文の投稿は随時受け付けます。
- 投稿論文の採否は、編集委員会の議を経て依頼された査読者2名と編集委員(長)の合計3名による審査によって決定します。査読者のうち1名は原則として投稿された論文の研究領域(または最も近いと判断される領域)の研究者とし、もう1名は研究領域にこだわらずに選ばれます。
- 査読者および編集委員(長)は、投稿論文とそのもとになった研究をよりよいものにしていくという観点から、書面によってコメントします。特に修正のコメントがない場合を除き、コメントを付していったん投稿者に返却し、論文の修正をお願いします。
- 修正・再提出された論文に対して査読者および編集委員(長)は同様の手続きを行い、採択・ 不採択を合議によって決定します。
- 採択・不採択にかかわらず、コメントは再び投稿者に返却されますので、今後の研究に生かしてください。また不採択の場合でも、修正の上、次年度以降の号で再投稿することができます。以上の過程は投稿者・査読者ともに匿名で行います。なお、査読者については『チャイルド・サイエンス』に氏名の一覧を掲載します。また、採択された論文はその時点で編集中の直近の号に収録します。
- ●【著作権】本誌に掲載された論文の著作権は日本子ども学会に帰属しますので、掲載論文を無断で複製および転載することを禁じます。所属機関リポジトリ等への掲載を希望される場合は、編集委員会にご相談ください。

執筆要項

- ①投稿者は、研究を進めるにあたって、倫理的問題に十分配慮することが求められます。
- ②会員、非会員を問わず投稿できます。非会員は、論文が採択された場合、日本子ども学会の年 会費の振込みをもって学会誌に掲載いたします。
- ③「研究論文」は 10000 字以内かつ刷り上がり5ページ以内、「研究ノート」は 8000 字以内かつ刷り上がり4ページ以内とします。図表等もこの範囲に収めてください。
- ④原稿はワードプロセッサで作成し、投稿は電子ファイルを添付して、編集部宛にメールで送信 してください。
- ⑤本文とは別に表紙を作成してください。表紙には論文タイトル、筆頭著者・共同著者の氏名、所属および職名、連絡先(住所・電話・メールアドレス)、および「研究論文」「研究ノート」の別を明記します。表紙の様式は下記ホームページからダウンロードしてください。また、本文にはタイトルのみを明記し、氏名等は記入しないでください。本文には500字以内の和文要約、および5項目以内のキーワードを付けてください。
- ⑥図表の描き方、引用文献、注の付け方などはそれぞれの領域の原則に従います。それがない場合は、以下の諸点に注意して作成してください。
- (1)図表は別紙に書き、図1、表1のように通し番号を付けます。
- (2)表の題はその上部に、図等の題は下部に、説明文はいずれも下部に書くこととします。
- (3)引用文献は、論文の最後に著者名のアルファベット順に一括して挙げてください。
- (4)引用文献は、著者名・発行年・題目・発行所の順に記述します。
- (5)注は通し番号を付け、別紙に記載します。本文中にはそれに対する番号を付してください。

★詳細情報はこちらに掲載します

日本子ども学会ホームページ http://www.blog.crn.or.jp/kodomogaku/

日本子ども学会 役員・理事のご紹介

■ 理事長

榊原洋一 (お茶の水女子大学名誉教授)

■副理事長

安藤寿康 (慶應義塾大学教授)

*研究·開発委員長兼務

太田美代(社団法人 環境政策対話研究所理事)

■事務局長

木下 真(福祉ジャーナリスト)

■ 常仟理事

一色伸夫 (こどもメディア研究所 所長)

* 広報委員長兼務

小林美由紀(白梅学園大学子ども学部教授、小児科医)

*財務委員長兼務

沢井佳子(チャイルド・ラボ所長、日本こども成育協会理事)

菅原ますみ (お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授)

所 真里子 (保育の安全研究・教育センター)

*事務局長補佐兼務

仁木和久(慶應義塾大学訪問研究員、産業技術総合研究所客員研究員)

*会員·規約委員長兼務

宫下孝広 (白百合女子大学人間総合学部教授)

劉 愛萍 (チャイルド・リサーチ・ネット主任研究員)

渡辺富夫(岡山県立大学情報工学部教授・副学長)

■理事

朝倉民枝(株式会社グッド・グリーフ代表取締役)

浅田 稔 (大阪大学先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター特任教授)

安西祐一郎 (慶應義塾大学名誉教授)

石渡正志 (甲南女子大学教授)

井上高光 (さつき幼稚園理事長)

内田伸子 (環太平洋大学教授、お茶の水女子大学名誉教授)

内田ふみ子(子ども大学よこはま事務局)

遠藤利彦 (東京大学大学院教育学研究科教授)

大橋節子(学校法人 創志学園副理事長、環太平洋大学学長)

長田有子(NPO法人 チャイルド・ケアリング・アソシエーション理事)

河合優年 (武庫川女子大学教授)

桐山伸也(静岡大学学術院情報学領域准教授)

坂上浩子 (NHKエデュケーショナル取締役)

酒井 厚(東京都立大学人文社会学部准教授)

佐倉 統 (東京大学大学院情報学環教授)

佐々木玲子(慶應義塾大学体育研究所教授)

佐藤朝美 (愛知淑徳大学人間情報学部准教授)

志村洋子 (埼玉大学名誉教授)

瀬尾知子(秋田大学教育文化学部こども発達・特別支援講座准教授)

竹下秀子 (追手門学院大学心理学部教授)

高塩純一(びわこ学園医療福祉センター草津 理学療法士)

竹林洋一 (静岡大学特任教授、みんなの認知症情報学会理事長)

塘 利枝子 (同志社女子大学現代社会学部教授)

中井昭夫(武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科・子ども発達科学研究センター教授)

服部 弘(一般社団法人 OGU 総合研究所副代表)

原島 博 (東京大学名誉教授)

開 一夫 (東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻教授)

真榮城和美 (白百合女子大学人間総合学部准教授)

松沢哲郎 (霊長類研究者)

渡部 茂 (明海大学保健医療学部教授)

■ 監事

安倍嘉人(弁護士、公益社団法人家庭問題情報センター理事長)

■顧問

箕浦康子 (お茶の水女子大学名誉教授)

〈50音順、2021年3月現在〉

チャイルド・サイエンス Vol.21

発 行 日: 2021年3月31日

発 行:日本子ども学会

http://www.blog.crn.or.jp/kodomogaku/

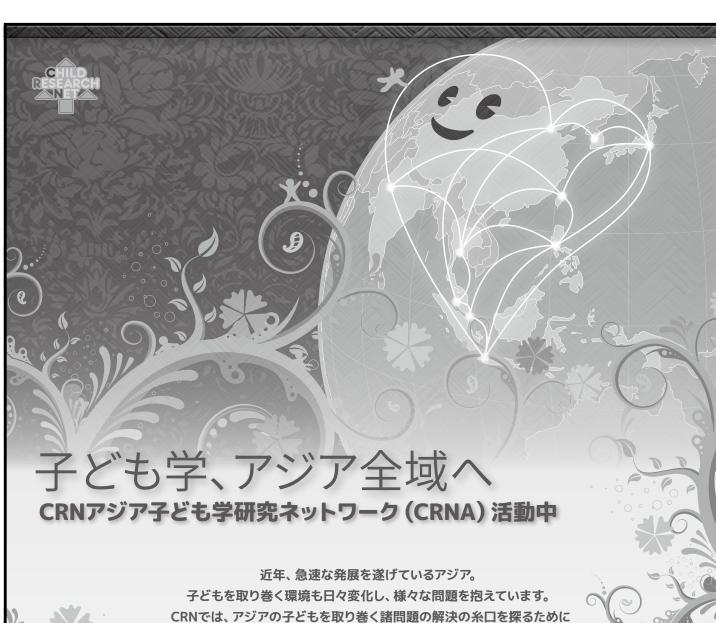
編 集:日本子ども学会 編集委員会

(榊原洋一、真榮城和美、菅原ますみ、梅永雄二、 太田美代、大橋節子、北野幸子、木下 真、 酒井 厚、佐藤朝美、志村洋子、瀬尾知子、 宮下孝広、渡辺富夫)

編集協力:木下編集事務所 株式会社インタレスト

デザイン:シモサコグラフィック

印刷·製本:株式会社総北海 ISBN 978-4-909336-07-1



「CRNアジア子ども学研究ネットワーク」を展開し、

アジア各国を代表する子ども研究の専門家のネットワークを構築しています。

※これまでの東アジアでの活動も、こちらからご確認いただけます。



子どもに関心をおもちの方ならどなたでもア クセスしていただきたい。CRNは日本国内の みならず、グローバルな視点で子どものこと を研究していくためのインターナショナルな 「場(arena)」を提供してゆきたいと思います。 是非有効にご活用ください。

子どもたちの **€顔のために、**







チャイルド・リサーチ・ネット 「子ども学」研究所







日本子ども学会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター Tel.03(6824)9370

Fax.03(5227)8631

E-mail:kodomo-post@bunken.co.jp

ISBN978-4-909336-07-1

頒布価格:本体 1700円(送料·税込)